

平成24年6月 鹿島市定例記者会見

日 時 平成24年6月15日(金) 11時30分～

場 所 市役所3階庁議室

1. 開 会

2. 市からのお知らせ

(1) 鹿島市地域防災計画を見直しました [総務課] P.1

(2) 肥前鹿島駅バリアフリー化整備工事に伴い駐輪場を仮移設します [企画課] . . . P.8

(3) 平成24年度鹿島市民政策提案制度集中受付結果 [企画課] P.9

3. 市長の主な動静 P.18

4. 行事予定

・北公園ジャブジャブ池プール開き 6月15日(金) 9時～17時 ※9月15日まで無料開放

・鹿島市議会6月定例会

一般質問 6月18日(月)～20日(水) 10時～

閉 会 6月22日(金) 10時～

・議会報告会(地区別) ※ご都合のいい日程でご参加ください。

6月29日(金) 19時30分～21時30分 能古見公民館

6月29日(金) 19時30分～21時30分 古枝公民館

7月 6日(金) 19時00分～21時00分 鹿島公民館

7月 6日(金) 19時30分～21時30分 七浦公民館

7月20日(金) 19時30分～21時30分 北鹿島公民館

7月20日(金) 19時30分～21時30分 浜公民館

・社協チャリティーバザー 6月29日(金) 14時～16時 林業体育館

5. 団体等からのお知らせ

・第33回鹿島納涼花火大会実行委員会からのお知らせ

・かしま市民立学修大学からのお知らせ

6. 記者との意見交換

7. 閉 会

次回は7月定例記者会見

7月18日(水) 11時～

市役所3階庁議室

問合せ・連絡先 総務部企画課

TEL 63-2101 三ヶ島、川原

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

総務部総務課

件名	鹿島市地域防災計画の見直しについて
アピールポイント	東日本大震災の教訓から、国の「防災基本計画」、県の「佐賀県地域防災計画」が見直されたことを受け、「鹿島市地域防災計画」の見直しを行いました。
説明	<p>主な見直し事項</p> <ul style="list-style-type: none">①原子力災害に対する項目の追加②避難所の設置基準、機能強化、運営、備蓄、市外・県外への避難等③市町間や市と防災関係機関の相互応援に関すること④消防団の機能・設備の充実 など <p>※見直し後の計画は平成24年5月17日から適用</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	総務部総務課
氏名	白仁田和哉
TEL	0954-63-2113
FAX	0954-63-2129
Mail	soumuka@city.saga-kashima.lg.jp

鹿島市地域防災計画 見直しの概要

1. 国の防災基本計画修正(H23.12.27)の概要

- 津波災害対策編の新設
- 東日本大震災を踏まえた地震・津波対策の抜本的強化
 - ・最大クラスの地震・津波想定の実施
 - ・津波警報等の伝達及び避難体制確保

2. 佐賀県地域防災計画修正(H24.2.13)の概要

①防災基本計画の修正によるもの

- 地震・津波対策の抜本強化等の反映
 - ・「震災対策編」から「地震・津波災害対策編」に修正

②風水害・震災対策編関係

- 命を守るスムーズな避難への対応
 - ・市町や県を越える避難の際、県が避難先を市町・隣県等と調整して確保し、指示する旨を規定
- 広域・長期に及ぶ大規模な災害への対応
 - ・支援物資の迅速・的確な調達・配送の仕組みを新たに規定
 - ・義援金の一次配分時期について目標を規定

③原子力災害対策編関係

- 大規模な原子力災害に備えた原子力防災対策の充実・強化
 - ・住民避難、緊急時モニタリング、被ばく医療対策、情報伝達・広報(風評被害対策含む)、子どもなどへの放射線影響低減策 など
- 原子力災害と自然災害の複合災害への対応

これらを踏まえて



鹿島市地域防災計画の見直しでは

1. 国の防災基本計画、県の地域防災計画の修正事項

○佐賀県地域防災計画の修正概要を受けての修正・追加

- ①原子力災害に対する項目
- ②避難所の設置基準、機能強化、運営、備蓄、市外・県外への避難等
- ③市町間や市と防災関係機関の相互応援に関すること
- ④消防団の機能・設備の充実 など

2. 平成23年6月改正版への県からの指摘事項を受けて の修正

3. 独自に見直した事項

について、見直しを行う。

地域防災計画（総則）の主な改正点①

- 警察が災害時に行う業務を明確化するため、現在警察が災害時に対応している業務の内容を記載。
- 原子力災害時における市が処理すべき事務又は業務を記載。

地域防災計画(災害の特性と被害想定)の 主な改正点②

- 津波災害について、さらに着目するため、文書内の「地震」という表現を「地震・津波」という表現に変更。

地域防災計画（災害予防・減災計画）の 主な改正点③

- 消防団への地域住民や事業所の理解や協力、消防団の施設・整備の充実について記載。
- 災害教訓の伝承について記載。
- 防災まちづくりに配慮した土地利用について記載。
- 地盤の液状化や地盤沈下対策について記載。
- ライフライン施設の耐震化について記載。
- コンピュータシステム等のバックアップについて記載。
- 防災拠点である市庁舎が被災した場合の代替えとなる施設や非常用電源の確保、非常用通信手段の確保について記載。
- 警察・消防・自衛隊等の拠点の確保について記載。

地域防災計画(災害予防・減災計画)の 主な改正点④

- 情報の収集等の整備・強化に、既に導入している全国瞬時警報システム(J-ALERT)、防災ネットあんあん、エリアメール、ケーブルテレビを追加。
- 原子力災害時の緊急時モニタリング実施体制の整備について記載。
- 避難先として、一時(いつとき)避難場所と避難所に区分けし、その選定基準を記載。
- 避難経路及び誘導體制、避難所の管理運営及び生活上必要となる基本的事項について記載。
- 災害時要援護者への災害情報伝達体制の整備について記載。
- 社会福祉施設、病院等の災害に対する安全性の確保について記載。
- 備蓄品についての住民等・市・県の役割分担、品目等の詳細について記載。

地域防災計画(災害応急対策計画)の 主な改正点⑤

- 原子力災害時の災害対策連絡室・災害対策本部の設置基準と業務を記載。
- 被害状況等の報告方法及び内容について修正。
- 自主防災組織の活動内容に初期消火(消火器やバケツリレー等での消火)活動を追加。
- 医療活動に原子力災害時に県が行う汚染検査等の緊急被ばく医療への協力を追加。
- 市外への避難や県外への避難が必要となった場合の県の役割について記載。
- 原子力災害など市外からの避難者を受け入れる場合について記載。
- 避難所の設置・運営について大幅に改正。
- 被災住宅の応急危険度判定等について記載。

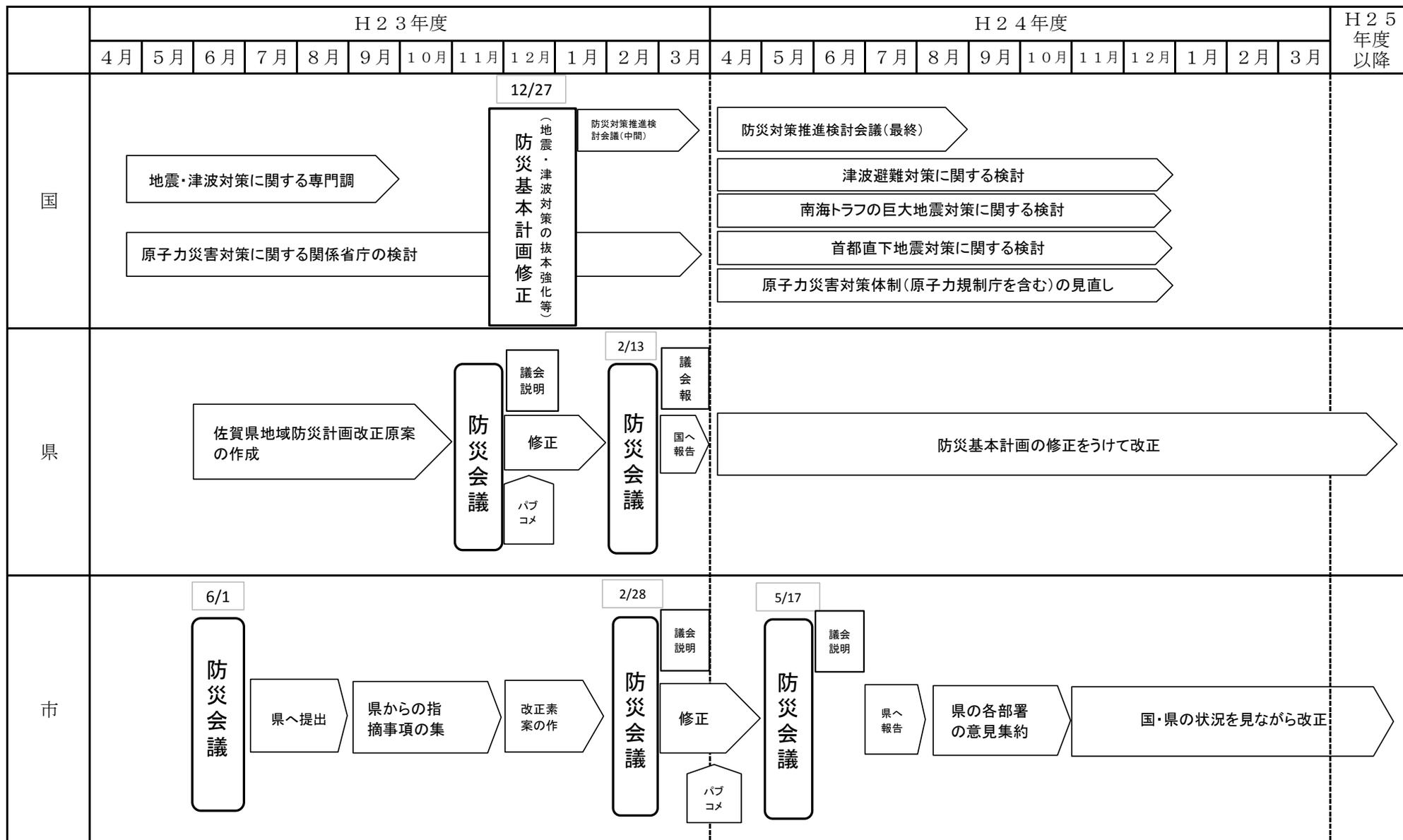
地域防災計画(災害応急対策計画)の 主な改正点⑥

- 緊急輸送のための燃料の確保について記載
- 義援物資の受入れの基本方針を記載。
- 義援金の配分方法について修正。
- 廃棄物(災害廃棄物・し尿・ごみ)について大幅に改正。
- 放射性物質による汚染への対応計画を新たに記載。

地域防災計画（災害復旧・復興計画）の 主な改正点⑦

- 復旧・復興事業からの暴力団の排除について記載。
- 被災者相談窓口の設置について記載。
- 原子力災害等による風評被害等の影響の軽減について記載。

国・県の動向と鹿島市防災計画改正スケジュール



佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名

総務部企画課

件名	肥前鹿島駅バリアフリー化整備工事に伴い駐輪場を仮移設します
アピールポイント	肥前鹿島駅バリアフリー工事に伴い、2階建の南側駐輪場（現駐輪場）を市営駅前駐車場内へ当面の間仮移設します。仮移設した駐輪場（仮駐輪場）への自転車乗り入れの際は、安全のために自転車を降りて通行してください。
説明	<p>仮駐輪場の設置期間 平成24年7月9日（月）～平成25年1月（予定）</p> <p>※現駐輪場の利用は7月8日（日）まで、7月9日以降は仮駐輪場をご利用ください。</p> <p>※7月13日（金）9時に現駐輪場を閉め切り、残された自転車等は警察・JR・鹿島市立会いのもと、仮駐輪場へ移動します。</p> <p>※7月14日（土）以降、現駐輪場の解体工事を行います。</p> <p style="text-align: center;">(佐賀方面) ← 線路 → (長崎方面)</p>
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	総務部企画課
氏名	吉牟田 剛
TEL	0954-63-2101
FAX	0954-63-2129
Mail	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



報道機関 各位

部課名

総務部企画課

件名	平成24年度鹿島市民政策提案制度集中受付結果
アピールポイント	平成24年5月を集中受付期間として、人口減少に歯止めをかけるための定住促進に関する政策や市民サービス向上・経費節減に関する政策など、平成24年度鹿島市民政策提案制度による政策の募集を行ったところ、6人より7件の政策の提案がありました。
説明	<p>政策提案書は別紙のとおりです。</p> <p>【採否結果通知までのスケジュール（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① プレゼンテーションの開催…6月14日（希望者3人） ② 提案に対する意見書作成（担当課）…6月中 ③ 審査会の開催（2回程度）…7月 ④ 庁議の開催（採否決定）…8月上旬 ⑤ 採否結果通知書の送付…8月中旬以降
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	総務部企画課
氏名	三ヶ島正和
TEL	0954-63-2101
FAX	0954-63-2129
Mail	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp

平成24年度 鹿島市民政策提案制度受付簿

集中受付期間 平成24年5月1日～5月31日

受付順	提案のあった政策の名称と概要	提案者	意見書作成
1	<p>【5/7受付】広報かしまを全世帯に配布する</p> <p>現在の新聞折込での配布では、2～3社の新聞を購読している世帯には同数の市報が届けられている。市嘱託員に依頼し配布すれば、折込代金が削減(0円)にできる。市関係の連絡事項等は、嘱託員を通じて各世帯に回覧または配布されているのに市報だけ新聞折込なのか。市報に合わせ県民よりも同様に実施する。</p>	市民	企画課 ・ 総務課
2	<p>【5/14受付】選挙の大型掲示板設置の廃止</p> <p>TV、ラジオ、新聞、各戸に配布される選挙公報で周知徹底している現在、大型掲示板は不要と思われる。設置や撤去に要する人件費、不使用時の保管代、ポスターを破ると言った選挙違反対策を考慮すると廃止が最適。</p>	市民	企画課 (選管)
3	<p>【5/21受付】鹿島市民が元気になるイベントの実施体制についての提案</p> <p>市内のイベントは、1日間の単発イベントが多く、市内他地区との一体感がないと思われる。単発ではなく毎年広がりを見せるイベントにするためにも、企画会議に若い人が積極的に参加できるように。高津原のりあいタクシーや市循環バスの日曜運行による集客の確保。駅にマイカーを駐車させ、駅から会場までシャトルバスを運行させる。他市町へのPR(ピラ配り)。市役所玄関前駐車場に入口出口の表示を。</p>	市民 プレゼン有	企画課 ・ 商工観光課
4	<p>【5/28受付】鹿島市定住案その1(工業系企業)</p> <p>近隣(佐賀県・福岡県)にある工業製品会社の下請けを主として誘致し、金銭面の優遇をする。市内に立地して、市内に住んでもらえるように住みやすい環境を整える。(職場の周辺に居住地を作るなど6つの提案。)</p>	市民	商工観光課
5	<p>【5/28受付】鹿島市定住案その2(子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てと仕事が両立できる市としてメディアを通じてアピールする。 ・他市町と協力して大規模なお見合いの実施。成立カップルに子育て支援の優遇制度。(7つの特典例) 	市民	企画課
6	<p>【5/30受付】定住促進のキーワードは安心・安全</p> <p>鹿島市が安心して住める町として、防災の備えや治安の良さをアピールして定住促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民全員(地区別)に年1回大規模な避難訓練をする。 ・治安の良さ(犯罪・暴力等)に対する市民感覚を養うため、市民一人ひとりが学習することから始める。 ・図書館に防災コーナーを設置する。 	市民 プレゼン有	総務課 ・ 福祉事務所 ・ 生涯学習課
7	<p>【5/31受付】マタニティライフのサポート(新たないのちの誕生を応援するまちに!!)</p> <p>産前の妊婦のサポート、交流の場をもつことにより悩み・不安を相談し、授かるよるこび・育てるよるこびへとつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座を開講し、母子手帳交付時にチケットを配付。 ・鹿島市で出産することにより、母親同士の横のつながりが深くなる。 	市民 プレゼン有	保険健康課

鹿島市民政策提案書

鹿島市長様

提案者

住所

氏名

電話番号

鹿島市民政策提案制度実施要綱により、提案します

なお、この提案が採用された場合、すべての権利が市に帰属することを了承します

1、提案する政策等の名称

- ① 市民サービスの向上
- ② 経費の削減

2、提案の目的、理由

目的 [広報かしま] を市民全世帯に配布する

理由 現在は、新聞折込（毎月1日）にて配達されているが、一世帯で2～3社の購読をされている世帯では、[広報かしま] も2～3部が配布されていることになる
また 新聞を購読していない家庭でも 市役所まで取りに行く必要がなくなる

3、提案の内容、要旨

各区長（市の嘱託員）に依頼する

現在、市関係の連絡事項等は 区長より 各部落（班長）に回覧または配布されている
なぜ [広報かしま] だけ新聞店に折込をお願いしているのか？

4、提案が実施されることによる効果（公益性・実現性など）

① 折込代金の削減

仮に 一部が 3円とすれば

月額 $3,00 \times 10,600 \text{部} = 31,800 \text{円}$ （3/31現在の世帯数）

年間 $31,800 \text{円} \times 12 \text{ヶ月} = 381,600 \text{円}$

② 削減額（年間） 381,600円 となる プラス 企業等分？

5、提案が実施されることに要する費用

- ① 費用 0円 但し 配達先・配達部数等を 一覧表に作成する
- ② その他 印刷会社に 発送まで依頼する

6、その他参考となる資料

「県民だより」も同様に実施する

県より折込代金等一部負担の助成ができる（県も経費の削減となる）？



鹿島市民政策提案書

鹿島市長 様

提 案 者

〒 住 所

氏 名

電話番号

鹿島市民政策提案制度実施要綱により、提案します。

なお、この提案が採用された場合、すべての権利が市に帰属することを了承します。

1. 提案する政策等の名称

選挙の大型掲示板設置の廃止

2. 提案の目的、理由

通信情報でTV、ラジオ、新聞、各戸に配布される選挙公報で周知徹底している現状に前時代的遺物の設置は不要だと思います。掲示板を見て何人の人が候補者を決定するでしょうか？

3. 提案の内容、要旨

設備費、撤去費等の人件と、不使用時の保管、掲示中の風雨対策、破ったりする選挙違反の対策等を考慮すると廃止が最適だと思います。

4. 提案が実施されることによる効果(公益性・実現性など)

借金超大国日本で数千、数石個所で行われていたが、鹿島市の突破口を叩いて日本の赤字を減らして下さい。

5. 提案が実施されることに要する費用

法案の改訂
勇気ある決断

6. その他参考となる資料

プレゼンテーション(口頭による審査員への提案)
への参加意向について【Oで囲んでください】

参加する

参加しない

【提出先と提出方法】〒849-1312 鹿島市大字納富分 2 6 4 3 番地 1 鹿島市役所企画課

☎(63)2101 ㊟(63)2129

郵送・持参・FAXにより提出してください



鹿島市民政策提案書

鹿島市長 様

提 案 者

郵便番号

※必須 住 所

※必須 氏 名

※必須 電話番号

鹿島市民政策提案制度実施要綱により、提案します。

なお、この提案が採用された場合、すべての権利が市に帰属することを了承します。

1. 提案する政策等の名称

鹿島市民が元気になるイベントの実施体制についての提案

2. 提案の目的、理由

鹿島市は、まもなく市制60周年を迎えるが最近元気がないと感じる。市内のイベントは、1日間の単発イベントが多く、市内他地区との一体感がない（バラバラで連携がない波及効果がない）と思われる。人口減少に歯止めをかけるには、鹿島市や市民が元気なところを他市町へアピールする必要がある。残念だが、市民会館やエイブルで集客が少ないイベントが行われることがある。イベントをするにも工夫が必要ではないか。

1回限りのイベントではなく、毎年広がりを見せるイベントに成長させるため、企画会議の段階から、年配の方だけではなく若い人が意見を出すことが必要だと思う。市が主催する行事についても市民協働といった観点から、これからの鹿島市を担う若い人（市民）達に積極的に参加してもらってはどうか。私自身もそういう会議があれば（若くはないが）ぜひ参加してみたい。

多くのイベントは土日で開催されるが、高津原のりあいタクシーや市循環バスは日曜運休日である。イベント会場への交通手段として、のりあいタクシーや循環バスを有効活用し、足のない市民が参加しやすいように取り組めないか。また、駐車場不足や交通渋滞を解消するためにマイカーは主要駅に置いてもらい、そこから公共交通機関を利用してもらうとともにイベント会場までは鹿島駅発着のシャトルバスの組み合わせで対応できないか。

また、市報を見てはじめて開催を知るイベントもあるため、市内はもとより近隣市町までビラ配りをするなど他市町にも積極的にPRをしてほしい。

元気な市民であるためにも安全確保は必要である。イベント会場によく使われる市役所前駐車場には、3カ所の出入口があるが、入口出口の表示が一切ないので、看板や路面表示は必要ではないか。バイパスの開通や道路拡幅により広い歩道が整備され歩行者の安全性は向上したが、歩道内に車を駐車している方もいる。せめて通学路については関係当局による巡回をお願いできないだろうか。

4. 提案が実施されることによる効果（公益性・実現性など）

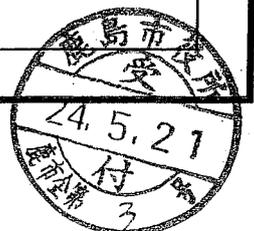
市民の企画会議参加等については、市民協働の取り組みとして公益性や実現性はあると思う。

5. 提案が実施されることに要する費用

企画会議は無償だろうし、ビラの費用や駐車場の看板設置には多少の費用負担が伴うと思われる。

6. その他参考となる資料

特になし



提 案 者

※必須 住 所

※必須 氏 名

※必須 電話番号

鹿島市定住案 その1

(工業系企業)

提案の目的、理由：今以上に人口が増えれば現在住んでいる人はさらに交流の機会が増え、また様々なサービスが受けれるようになり、今以上に充実した生活が送れると思ったから。

提案の内容、要旨：

- ・佐賀や福岡にある工業製品会社の下請けを主とする。
- ・来てもらったところには金銭面の優遇。
- ・立地場所としては郊外とする。(市街には土地がないと判断したため。もし、土地があるならばそこを利用したいと考えている。)
- ・市内に立地して市外に住んでもらっては意味がないので、住みやすい環境を整える。
 - 1,職場の周りに居住地を作る。
 - 2,遠くまで行かなくてもいいようにある程度生活に必要なものが揃っている店をつくる。
 - 3,道路を整備する。
 - 4,警察と連携して見回りの強化。
 - 5,ごみ袋を安くして丈夫にする。
 - 6,どんな家族構成でも受け入れることができるように高齢者や身体障害者に優しい街作りをする。

提案が実施されることによる効果

- ・よそから多くの人があるのでコンビニや飲食店の売り上げが上がる。
- ・人が増える→商業施設の建設→よそから人が来る→街の活性化。
- ・人が多く住むようになることで様々な税金収入◎

提案が実施されることに要する費用：不明(どのくらいかかるか分かりません)

その他参考となる資料：市の予算がわかるもの。



提 案 者

※必須 住 所

※必須 氏 名

※必須 電話番号

鹿島市定住案その2

(子育て支援)

提案の目的、理由：定住するということはそこで子供を育てることなので子育て支援は欠かせないと思ったから。

- 提案の内容、要旨：
- ・子育てと仕事が両立できる市としてメディアを通じてアピールする。
 - ・ほかの市町村と協力して大規模なお見合いをする。そこで出来たカップルが結婚して、鹿島に住むとなったとき子育ての面で得する特典を付ける。
その特典の例として、
 - 1,土地と家が安く手に入る。
 - 2,子供が増えていくたびに色んな経費が安くなっていく。
 - 3,医療費の軽減。例 ○才以下は安い、高い 等
 - 4,遊び場を増やす。
 - 5,子供方も楽しめるイベントの開催。
例 ヒーローショー、サンリオやディズニー系のイベント 等
 - 6,鹿島市から通勤するとき、交通費に補助金。
 - 7,育児情報の交換のため親たちの交流の場を作る。

※子供に対する経費が安くするのはある程度公平にするため地元の人でも出来るようにする。

- 提案が実施されることによる効果：
- ・様々な世代が増えることにより色々な需要が出る。
 - ・将来、子供たちが鹿島に就職してくれる可能性があり、そこからまた鹿島の人口が増える。

提案が実施されることに要する費用：不明

その他参考となる資料：鹿島市の予算がわかるもの。



鹿島市民政策提案書

鹿島市長 様

提 案 者

郵便番号

※必須 住 所

※必須 氏 名

※必須 電話番号

鹿島市民政策提案制度実施要綱により、提案します。

なお、この提案が採用された場合、すべての権利が市に帰属することを了承します。

1. 提案する政策等の名称

定住促進のキーワードは安心・安全

2. 提案の目的、理由

地震、津波、原発事故そして竜巻の被害。いつ、どこで何があるかわからない。このような不安な中を生活していると、子どもを産んで育てることを躊躇してしまう人もいるのではないだろうか。平成22年度の鹿島市の人口動態をみると、老年人口は25.7%、生産人口は59.4%、年少人口は14.9%と減り続けている。そこで、鹿島市が安心して安全に住める町として、防災の備えや治安の良さをアピールして定住促進を図りたい。

3. 提案の内容、要旨

・防災の備え：東日本大震災の時に見舞われた津波を想定し、鹿島市民全員（各地区に分かれて）で年に一回、大規模な避難訓練をする。釜石の奇跡を鹿島の奇跡とするために。
・治安の良さ：犯罪はもちろん、暴力に対して毅然とする市民感覚を養う。まず、市民一人一人が学習することから始めたい。DVや虐待のない町を積極的にアピールすることが、住みやすい町、住みたい町につながる。

4. 提案が実施されることによる効果（公益性・実現性など）

・東日本大震災での津波の映像を見ると、鹿島だったらと考えてしまう。学校、事業所での防災教育はもちろんのこと、市民全体で考え、行動することを一度やったら、防災についてより身近な事として考えることができると思う。・治安の良さを考えるとき、一番最初に頭に浮かぶのは、犯罪のない町だろう。では、犯罪とは私たちにとって、遠い出来事なのだろうか。私たちの身近な人が、世間の無理解によって、DVや虐待で暴力にさいなまれながらも声を潜めて生きている人がいると思う。治安の良さは、社会ばかりでなく、家庭にこそ大切である。市民感覚を養う学習を実施することにより、だれもが安心して安全に生活できるようになる。

5. 提案が実施されることに要する費用

・市民全体での避難訓練については、今あるものを活用する。図書館に防災についてのコーナーを設置する。・DVや虐待については、意識を高めるために、市民図書館にその関係の図書（絵本も含む）を購入してもらい、コーナーを設ける。安心した町作りには、その根っこにある文化水準を高めることが不可欠である。

6. その他参考となる資料

<p>レシートを添付し、(同封にする審査員への提案)の参加者同様に、右側を返してください。</p>	<p>参加する <input type="checkbox"/> 参加しない <input type="checkbox"/></p>
---	---

【提出先と提出方法】

〒849-1312 鹿島市大字納富分2643番地1 鹿島市役所企画課(3階)
電話(63)2101 FAX(63)2129

郵送・持参・FAXにより提出してください。

記入欄が不足する場合は、適宜、別紙にて提出してください。



鹿島市民政策提案書

鹿島市長 様

提 案 者

住 所

氏 名

電話番号

鹿島市民政策提案制度実施要綱により、提案します。

なお、この提案が採用された場合、すべての権利が市に帰属することを了承します。

1. 提案する政策等の名称	マタニティライフのサポート (新にないのちの産生を応援するまちに!!)
2. 提案の目的、理由	産後のサポートは、鹿島市でも行われていない(サクル、ひろは等) 産前の妊婦さんサポート、交流の場をもつことにより、悩み、不安を相談し、授かるよろこび、育てるよろこびへとつなげていきたい。
3. 提案の内容、要旨	母子手帳交付時に、チケット制にして配布する / (産前産後の妊婦さんへのよびかけ) ・マタニティヨガ ・ アロママッサージ ・ マタニティのおしゃべりサロン ・ マタニティ料理教室 ・ お母さんにもできる子どものカート教室・予防接種の講習
4. 提案が実施されることによる効果(公益性・実現性など)	・ 鹿島市で出産することにより、母親同士の横のつながりが深くなる。 ・ 先輩お母さんからの直接の指導により、核家族、単独家族等、妊婦さんの不安を解消できる
5. 提案が実施されることに要する費用	(各講座の講師料 1日 5,000円 材料費等 会場は、公共施設利用)
6. その他参考となる資料	

産前産後
サポート
鹿島市に
お

プレゼンテーション(口頭による審査員への提案)への参加意向について【○で囲んでください】	<input checked="" type="radio"/> 参加する <input type="radio"/> 参加しない
--	---

【提出先と提出方法】〒849-1312 鹿島市大字納富分 2 6 4 3 番地 1 鹿島市役所企画課(3階)

☎(63)2101 ㊟(63)2129

郵送・持参・FAXにより提出してください



記入欄が不足する場合は、適宜、別紙にて提出してください。

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



市長の主な動静

1 / 2 枚

No. 1

日時 6月16日(土) 9時30分～**場所** エイブル2階和室**件名** 第11期ヒカルの碁鹿島スクール開講式**内容** 市内小学生40人とその保護者が参加**担当** 生涯学習課**電話** 0954-63-2125

No. 2

日時 6月26日(火) 9時15分～**場所** 鹿島市役所庁議室**件名** 上海市青浦(チンプウ)区議会鹿島市表敬訪問**内容** 佐賀県が受け入れ、県内の視察。鹿島市では酒蔵通りや道の駅鹿島、祐徳稲荷神社を視察予定。**担当** 企画課企画係**電話** 0954-63-2101

No. 3

日時 6月28日(木) 13時～**場所** 鹿児島県出水郡長島町役場**件名** 九州沖縄地区道の駅連絡会平成24年度通常総会への出席**内容****担当** 商工観光課**電話** 0954-63-3412

No. 4

日時 7月1日(日) 10時～**場所** 納富分公民館**件名** 納富分区自主防災組織設立総会**内容** 納富分区主催**担当** 総務課消防交通係**電話** 0954-63-3113

No. 5

日時 7月1日(日) 15時～**場所** 西塩屋公民館**件名** 第23回西塩屋ふれあいの集い**内容** 市長講話**担当** 西塩屋区**電話** —

佐賀県鹿島市 定例記者会見資料



市長の主な動静

2 / 2 枚

No. 6

日時	7月9日（月）14時～	場所	佐藤農場（飯田）、鹿島市役所
件名	九州農政局長来鹿（佐藤農場視察）		
内容	吉村九州農政局長ほか4人が農場視察のほか市役所を表敬訪問する。		
担当	農林水産課農政係	電話	0954-63-3413

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

件名	第33回鹿島納涼花火大会(イベント情報)
アピールポイント	空中ナイアガラなど約2,500発の花火が彩ります。また、花火の打上げ前には会場の特設舞台上で、地元園児によるマーチングや踊りなど来場者参加型の企画も準備しています。
説明	日時 7月14日(土) 20時30分 ・17時30分～ 会場特設舞台上でのイベント ・20時30分 花火打上げ ※雨天の場合は7月17日(火)に延期 場所 鹿島市浜町浜川河口・新浜大橋周辺 問合せ先 浜公民館 電話番号 0954-62-2534 鹿島納涼花火大会実行委員会事務局 電話番号 0954-63-3304
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	鹿島納涼花火大会実行委員会事務局
氏名	小野原 麻貴子
TEL	0954-63-3304
FAX	0954-62-2534
Mail	hama-kou@po.asunet.ne.jp

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

件名	浜祇園祭(イベント情報)
アピールポイント	松岡神社と若宮神社(古枝地区大村方)間を「お下り」、「お上り」と称して神輿や提灯行列などが練り歩きます。大村方区の獅子舞や各団体による奉納踊りが浜町一円で見る事が出来ます。
説明	日時 7月13日(金) 19時30分頃出発 ・松岡神社から若宮神社へ「お下り」 ・大村方区の獅子舞の先導で神輿や提灯行列、区長会踊り子、浜つつ会等が練り歩きます。 7月15日(日) 14時30分頃出発 ・若宮神社から松岡神社へ「お上り」 ・大村方区の獅子舞の先導で神輿や、子どもみこし、東部中吹奏楽パレード等が練り歩きます。 場所 松岡神社～若宮神社
別添資料	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	浜公民館
氏名	細川 敏和
TEL	0954-62-2534
FAX	0654-62-2534
Mail	hama-kou@po.asunet.ne.jp

平成24年度 第4回えいびる事業

NHK「ハートネットTV公開すこやか長寿」公開録画

このたび、「ハートネットTV・公開すこやか長寿」の公開録画に合わせ、
「NHK ふれあいミーティング」を下記のとおり開催いたします。

日 時／平成24年7月1日(日) 12:15～13:00

会 場／鹿島市生涯学習センター エイブル 音楽スタジオ

スケジュール／12:15～12:20…出席者紹介

12:20～13:00…意見交換

出席者／鹿島市にお住まいの皆様 約10名 NHK佐賀放送局 4名

※ご希望の方には、「公開すこやか長寿」をご観覧いただけます

平成24年度 第5回えいびる事業

この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ

【日時】8月10日(金)【チケット発売開始】6月30日(土)

【開場】18:30 【開演】19:00 【場所】鹿島市民会館

【入場料】

指定席	—	一般：2,500円	楽修大学生：2,000円
		高校生以下：1,000円	高校生以下の楽修大学生：500円
自由席	—	一般：1,500円	楽修大学生：1,000円
		高校生以下：500円	高校生以下の楽修大学生：500円

図書館からのお知らせ

第5回 天の川お星さま おはなし会

と き：7月8日(日) ところ：エイブル1階 保健センター内
10時～12時 いきいきルーム

対 象：幼児～大人(申し込みは不要です)

読書感想文教室

ところ：エイブル3階 研修室 及び図書館内

対 象：小学生

と き：7月26日(木) 定 員：60名
10時～12時

※申し込みは7月7日(土)10時より

読書感想画教室

ところ：エイブル3階 生活工房A

対 象：小学生

と き：8月1日(水) 定 員：32名
14時～16時

※申し込みは7月11日(水)10時より



「ふれあいミーティング」
に参加いただける
市民の方を募集します。
詳細は下記の通りです。
お申込・お問合せは
エイフル2階事務局まで。
TEL0954-63-3424

NHK佐賀放送局では、様々な機会をとらえ「ふれあいミーティング」を開催し、多様なジャンル、幅広い年齢層の方々からNHKの事業活動や地域放送へのご意見・ご要望をいただいています。

このたび、「ハートネット TV・公開すこやか長寿」の公開録画に合わせ、「NHK ふれあいミーティング」を下記のとおり開催いたします。

市民の方へ出席いただき、日頃NHKに対して感じること、佐賀局の地域番組放送へのご意見などをうかがいます。

日 時／平成24年7月1日(日)

12:15~13:00

会 場／鹿島市生涯学習センター エイフル

音楽スタジオ

スケジュール／12:15~12:20…出席者紹介

12:20~13:00…意見交換

出席者／鹿島市にお住まいの皆様 約10名

NHK佐賀放送局 4名

※ご希望の方には、「公開すこやか長寿」をご観覧いただけます。

この子たちの夏1945・ヒロシマ ナガサキ



かとうかず子

こむら ひろ
古村 比呂たかはし のりえ
高橋 礼恵とくしま よしこ
床島 佳子にしいま みずき
西山 水木はら ひでこ
原 日出子

鹿島が、長崎原爆の被爆者の避難地であった事を知る人も少なくなってきた今、原爆投下の翌日である8月10日に、朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」を上演します。

1945年8月、広島・長崎で原子爆弾にあった子どもたち、それを看取った母、看取ることの出来なかった母たちの残した手記・詩歌などを六人の女優と地元参加者が読む1時間半の朗読劇。

戦争、原爆反対を声高に訴えるのではなく、無情にも引き裂かれた母子の、母を慕う子どもの心、子を思う母の気持ちが飾り気のない言葉で綴られ、観客の心の深い部分に平和な世界であることの素晴らしさ、命の絆の尊さを届け続けてきました。

親・子・孫の世代が演劇を通して平和・命の大切さを共有できる貴重な機会です。皆さまのご来場をお待ちしています。

【日時】 **8月10日(金)** 【チケット発売開始】 **6月30日(土)**

【開場】 **18:30** 【開演】 **19:00** 【場所】 **鹿島市民会館**

【入場料】 **指定席** 一般:2,500円 楽修大学生:2,000円

高校生以下:1,000円 高校生以下の楽修大学生:500円

自由席 一般:1,500円 楽修大学生:1,000円

高校生以下: 500円 高校生以下の楽修大学生:500円

【主なプレイガイド】 かしま市民立楽修大学(エイブル2階)、ピオ、ララベル、モリナガ鹿島店
Q-BOX、ゆめタウン武雄、佐賀玉屋

★舞台で朗読していただく女子高校生を募集します。詳細は楽修大学まで。

※未就学児の入場はご遠慮ください。託児あり。予約申込は8月3日(金)まで。

アフター・トーク開催予定

終演後、出演者による、トークショーの開催を予定しています。

【問合せ】かしま市民立楽修大学(鹿島市生涯学習センター・エイブル内)

☎: 0954-63-2138 E-mail: able1@po.asunet.ne.jp



6月・7月の床の間コーナーは、昨年12月に94歳で亡くなられた日本画家 岩永京吉さんの作品をご紹介します。

◆**展示期間** 平成24年 6月1日(金)～8月5日(日)

◆**場 所** 鹿島市生涯学習センター・エイブル2階 床の間コーナー



↑ 九年庵にて

岩永さんは、大正6年鹿島村に生まれ、現在の東京芸術大学を卒業。鹿島高校や鹿島実業高校で美術教諭として奉職後、佐賀大学教育学部の日本画担当として学生の指導に当たられ、教え子には、芸術、教育の分野で活躍している方が多数いらっしゃいます。

画業でも、日展や日春展、佐賀県展などに多数入賞・入選されており、一貫して芸術家としてたゆまぬ努力と精進を重

ねられました。岩永さんは、人物画・生活画の中に働く人の力強い生活感・実在感を描き、日本画一般に欠如していた、人物の個性的な性格表現に一つの境地を切り開いたと言われています。

今回は遺族所蔵作品の中から、前期に岩永さんの精神風土となった漁村風俗から『働く人』をテーマに、後期は教員退官後、画業に専念し、家族愛と自然観を見事に表現した数多くの作品から『家族』をテーマに、温もりある作品を展示します。その他、習作、スケッチブック等も展示していますので、是非足をお運びください。よろしくお願いいたします。



↑ 自宅に並べられていた岩絵の具たち

※習作とは…絵・彫刻・音楽などで、練習のために作ること。その作品。(岩波国語辞典より引用)

【協力】岩永京吉さんのご遺族

【監修】画家：杉光 定

【参照】岩永京吉作品集

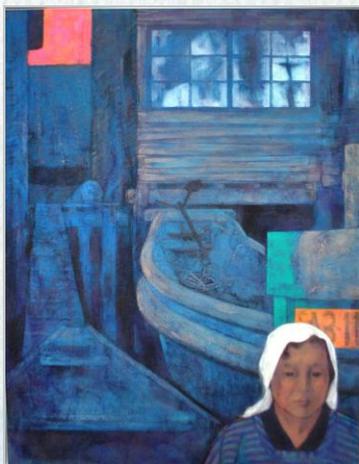
【問合先】

かしま市民立楽修大学（エイブル2階事務局）

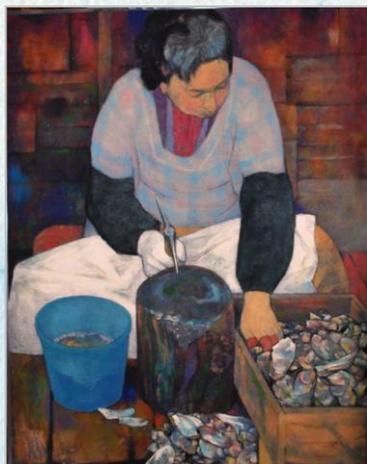
担当：織田・小野原

TEL：0954-63-2138/FAX：0954-63-3424

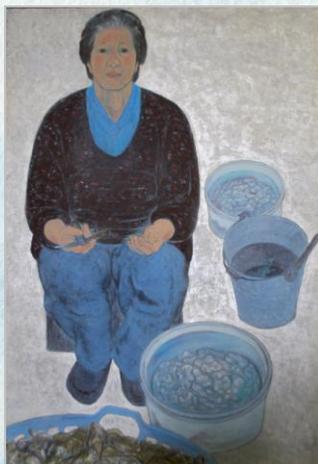
前期展示作品(6月)



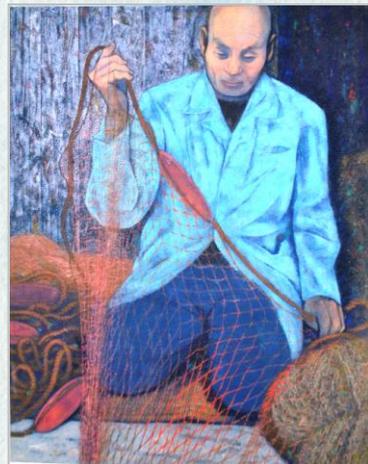
『漁村夕映』 50F
1973年3月
第8回日春展 入選



『牡蠣打ち』 50F
1970年3月
第5回日春展 入選



『牡蠣(休んでいる人)』 60P
1987年3月
第22回日春展



『漁師』 50F
1975年3月
第10回日春展 入選

後期展示作品(7月)



『A子像』 30P
1988年12月



『親子』 60F
1986年3月
第21回日春展 奨励賞



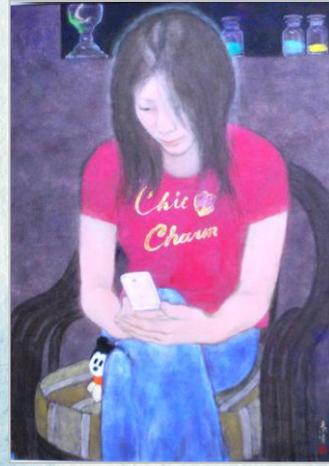
『少年(一晩)』 60P
1991年2月
第26回日春展



『風船かすら』 50F
1996年9月
第32回日春展



『パジャマの少年』 60P
1994年5月



『メールを打つ』 P30
2006年9月

※後期作品は展示内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。